

**3M、過去最高の第2四半期の業績を発表
1株当たり利益は1.66ドル、生産性の向上により営業利益率22.9%を達成**

当資料は、3M社(本社:米国ミネソタ州、NYSE:MMM)が2012年7月26日(現地時間)に発表した報道資料を和訳したものです。

3Mの第2四半期の1株当たり利益は、前年同期比3.8%増の1.66ドルと過去最高を記録しました。営業利益は17億ドル、営業利益率は22.9%でした。営業利益率は事業6部門すべてで20%を超えました。

売上高は前年比1.9%減少し、75億ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は1.9%増加し、買収による売上高増加は0.5%でした。経済状況の不振とドル高が第2四半期の売上高に影響しました。為替相場変動による売上高の減少分は4.3%でした。

部門別の買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は、「ヘルスケア」で5.4%、「工業用及び輸送機器」で4.2%、「コンシューマー及びオフィス」3.1%、「セーフティ、セキュリティ及びプロテクションサービス」で3.1%増加しましたが、「電気及び通信」で1.8%、「ディスプレイ及びグラフィックス」で6.6%減少しました。両部門ともに、家電市場の低迷による減少です。地域別の買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は、中南米・カナダで11.4%、米国で3.6%増加しましたが、アジア太平洋地区で0.6%、EMEA(欧州、中東およびアフリカ)で1.9%減少しました。

第2四半期の純利益は12億ドル、1株当たり利益は1.66ドルでした。第2四半期の営業利益率は22.9%で、フリーキャッシュフローは10億ドルを超えました。

インゲ・G.チューリン会長・社長兼最高経営責任者は次のように述べています。

「当社の第2四半期は素晴らしい結果となりました。高い生産性と最高利益を達成しています。これは、全社一丸となって工場の効率化とコスト削減を推進した成果です」。

また、チューリンは次のように話しています。

「3Mは今後も引き続き利益とキャッシュフローの増加に向けて努力を継続します。同時に、製造部門への戦略的な投資やイノベーションの推進、イノベーションの製品化を通してお客様との関係を強化・拡大します」。

3Mは、2012年通年の1株当たりの利益は前回の予測と同様6.35~6.50ドルとしています。買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は2~5%増加すると見込んでいますが、為替相場の変動によって約3%押し下げられると予測しています。2012年通年の営業利益率は21.5~22.5%と予想しています。

第2四半期のビジネス部門別の業績

工業用及び輸送機器

- 売上高は米ドル建てで0.6%減少の26億ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は4.2%増加しました。買収による売上高増は0.2%でしたが、為替相場の変動による売上高の減少は5.0%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は以下の通りです。
 - 自動車OEMマーケット、航空機マーケット、研磨材、エネルギー及び先端材料分野で最も増加しました。
 - 中南米・カナダ、アジア太平洋地区、米国で増加し、EMEAではわずかに減少しました。
- 営業利益は13.0%増加して6億1,400万ドル、営業利益率は23.4%でした。

ヘルスケア

- 売上高は米ドル建てで1.1%増加して13億ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は5.4%増加しました。買収による売上高増は0.4%で、為替相場の変動による売上高の減少は4.7%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は以下の通りです。
 - すべての部門で増加し、主にフードセーフティ、ヘルス・インフォメーション・システムズ、創傷ケアが増加をけん引しました。
 - 中南米・カナダ、アジア太平洋地区で2桁台の伸びを達成し、EMEAと米国も売上高が増加しました。
- 営業利益は13.4%増加して4億1,400万ドル、営業利益率は32.3%でした。

コンシューマー及びオフィス

- 売上高は米ドル建てで2.3%増加して11億ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は3.1%増加しました。買収による売上高増は2.7%で、為替相場の変動による売上高の減少は3.5%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は以下の通りです。
 - DIYやホームケアビジネスが好調で増加しました。
 - 中南米・カナダ、アジア太平洋地区、米国で増加しましたが、EMEAでの減少で一部相殺されました。
- 営業利益は10.2%増加して2億2,200万ドル、営業利益率は21.0%でした。

セーフティ、セキュリティ及びプロテクションサービス

- 売上高は米ドル建てで1.9%減少して9億9,100万ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は3.1%増加しました。為替相場の変動による売上高の減少は5.0%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は以下の通りです。
 - インフラストラクチャ・プロテクション、パーソナルセーフティ、ビルディング及びコマースサービスが大きく増加し、セキュリティシステムズは前年比減少しました。
 - 中南米・カナダ、アジア太平洋地区、米国で増加しましたが、EMEAでの減少で一部相殺されました。
- 営業利益は6.3%増加して2億5,800万ドル、営業利益率は26.0%でした。

ディスプレイ及びグラフィックス

- 売上高は米ドル建てで9.3%減少して8億8,200万ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は6.6%減少しました。為替相場の変動による売上高の減少は2.7%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は以下の通りです。
 - 液晶テレビ用フィルムの販売減少により、オプティカルシステムズでは2桁台の減少となりました。
 - アーキテクチャルマーケットとコマーシャルグラフィックスでは2桁台の増加、交通安全システム事業部の売上高はわずかに減少しました。
 - アジア太平洋地区とEMEAで減少しましたが、米国と中南米・カナダの増加で減少は一部緩和されました。
- 営業利益は19.1%減少して1億7,900万ドル、営業利益率は20.3%でした。

電気及び通信

- 売上高は米ドル建てで4.7%減少して8億2,400万ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は1.8%減少しました。為替相場の変動による売上高の減少は2.9%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨での売上高は以下の通りです。
 - エレクトリカルマーケットでは増加しましたが、電気通信やコンシューマエレクトロニクス部門では、前年比で減少しました。
 - 中南米・カナダ、米国で増加しましたが、EMEAとアジア太平洋地区では前年比減少しました。
- 営業利益は2.3%減少して1億9,500万ドル、営業利益率は23.7%でした。

###

将来予想に関する記述

このニュースリリースは、相当のリスクおよび不確実性を伴う3Mの財務上の実績および予測ならびに景気見通しについて、将来を予想した記述を含みます。将来の業績、事業計画、景気見通しを予想した記述には、「予測する」「予想する」「予期する」「期待する」「見積る」「意図する」「計画する」「信じる」「目指す」「であろう」などの語句を用いています。このような将来予想に関する記述から実績を大きく逸脱させる要因としては、以下の各項が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 世界経済や資本市場の状況など、3Mにとって不可抗力な要因(3Mの経営あるいはそのお客様およびサプライヤーの経営に影響をおよぼす自然およびその他の災害を含む)
- (2) 3Mの信用格付けおよび資本コスト
- (3) 競争条件およびお客様の嗜好
- (4) 外国為替レートおよびその変動
- (5) 新製品の提供時期および市場での受容
- (6) 部品、合成物、原材料、エネルギー(石油や天然ガスならびにその派生物を含む)の払底、需要増または供給停止(自然およびその他の災害、ならびに他の事故により引き起こされたものを含む)による調達不能または価格高騰
- (7) 買収、戦略的提携、企業分割、または経営資源の効率化やその他の事業戦略から生じた特殊な事情の影響あるいは組織再編の影響
- (8) 生産性向上の目標未達
- (9) 機密保持違反および3Mの情報技術インフラに対するその他の侵害

(10)訴訟手続き(2011 年度 12 月期における3Mの 10-K 年次報告書に記載の訴訟および法的手続きで生じる重大な展開を含む)

前述の想定または要因の変化から、将来予想に関する記述と大幅に異なる結果が生じる可能性があります。これらの要因についての詳細は、年次報告書の第 1 部第 1 項『将来の実績に影響を与え得る要因に関する注意書き』および第 1A 項『リスク要因』に記載されています。

このニュースリリースに含まれる情報は、ここに記載された日付におけるものです。3Mは、新たな情報の出現あるいは将来の状況または展開にかかわらず、このニュースリリースに含まれる将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

3M、は3M社の商標です。